

山層雲峡 ビジターセンター



【エソユキウサギ～7月】登山道脇にエソユキウサギが・・・。

しかも、お昼寝中でした。夜行性であることで日中は休んでいますが、まさか登山道のすぐ横とは・・・。地面を掘り、体半分を隠しながらのお昼寝です。登山者が通ることで、他の外敵が寄ってこないとも思っているのか、そうであれば実に賢いですね。常に警戒しており、写真に収めること自体が難しく、見つかると一目散に逃げて行きます。しばし観察していましたが、物音を立てるとようやく目を覚まし、おもむろに去って行きました。去って行く途中にこちらを振り返り、何か言いたげな・・・。睡眠妨害をしてしまったようです・・・。



【仔リス～7月】黒岳石室の隙間から仔リスが5匹顔を出していました。シマリスの交尾期は4/下～5/上で、妊娠期間は約30日、6/上に仔リスが巣穴から顔を出します。平均5頭の子を産み、寿命は5～6年と言われています。地下に巣を作り繁殖しますが、このリスは建物の隙間から・・・。巣が小さくなると、親リスが子を丸め啜えて別の巣に移動しますが、このリスは建物内で繁殖したのか？地下巣が小さくなり建物に移動したのかは不明ですが、秋口には独り立ちします。チョロチョロ動き回り、登山者に踏まれそう・・・。以前の黒岳に戻った光景でした。

【仔ギツネ～6月】

可愛らしい顔をしています、なんとも「悲しげな」表情……。親ギツネがエサを獲りに離れていましたが、親を待っているんでしょうね……。

【エゾシマリス～6月】今シーズン初めてシマリスに出会いました。いつ見ても愛らしいですね。多産化なので数は多く生息していそうですが、最近はやや中々出会いません。外敵の影響がありそうです。



【ニューナイスズメの巣作り～6月】

基本は雌雄で作りますが、しばし見ていると、どうやら雄は巣作りを「さぼって」いるようです。雌が「にらみ」をかかしているような……。

【ノゴマ～7月】体長約15cm、スズメとほぼ同じ大きさです。東北の一部を除き、日本では北海道だけで繁殖します。尾を上上げてさえずっていますので、繁殖期のような感じです。シマリス同様、今シーズンお初のノゴマでした。喉の淡赤色が特徴で「日の丸」の俗称があります。





【雲海～6月】6月下旬雲海が発生しました。雲海が発生する気象条件としては、湿度が高い状態で十分な放射冷却があり無風状態のときに発生します。(詳細につきましては、センターだよりNO68をご覧ください)これから秋にかけて雲海が発生する確率が高い季節となっていきます。

写真：黒岳五合目展望台より(左・天塩岳、中央・ニセイカウシュッペ山、右：屏風岳)

【←左官屋のゴジュウカラ～6月】

この樹洞は元々「エソモモンガ」が使っていたものですが、ゴジュウカラに乗っ取られたようです。入口が大きく敵の侵入を避けるため、泥などでまわりを塗り固め狭くします。長くちばしを「こて」のように使う「左官屋」なのです。ときには「ハンマー」であり「ノミ」でもあります。さらには、写真の通り入口を狭くして中に種子などを詰め込み、ふたをして隠すこともします。なんとも賢く、行き届いた野鳥です。



【キタキツネVSアオダイショウ～7月→】

格闘すること約30分、終始押し気味のキタキツネ、飛びかかって応戦するもキツネに頭をくわえられ、ブンブン振り回され格闘終了。キツネに軍配が上がりました。きれいな「じゃばらおり」で口にくわえ、頭だけを口から出して噛まれないようにし、仔ギツネの所に連れて行きました。まさに「野生」です。

蛇の嫌いな方が多いと思い、鮮明な写真は省きました。



フキフン。かなり大きいフンでした。

【熊糞】6月←見つけた場合はその場から離れましょう。

【ヒガシニホントカゲ～7月→】

天敵に襲われそうになった場合、尾を自切します。切り離された尾はしばらく動き回ることによって外敵の注意を引く働きをします。生きる知恵ですね。尚、切れた尾はまた再生します。



【←ヤマビル(ヒル)～7月】

日本では岩手・秋田県以南から四国、九州に分布します。人間に付着したのか、鳥に寄生して渡ってきたのかは定かではありませんが……。雨が降ると出てきます。



【←熊足跡～7月】

雪渓上に熊の足跡。何と怪我をしているようで、足を引きずって……。滑落か縄張り争いか、それとも雌の奪い合い?推測の域をでませんが、目撃談では大きな個体だったようです。





折って切って開いたら、あらステキ♪
子供から大人まで楽しめます。
参加自由・無料/申し込みは不要です

■平成30年度年間講座■

8/17.18 一日2回 アイヌ語地名講座
「ニセイ」を歩く

★★観察会は事前申し込みが必要です★★
★★詳細についてはお問合せください★★

■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示

【場所】ビジターセンターレクチャールーム

(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

いまきのカレンダー

5月↓		上川・層雲峡気象↓	
5/21	シマヘビ 上	5/23	センター前最高気温24℃ 今期最高
5/22	熊糞、エゾリス 層	5/25	上川日最大1時間降水量10mm 5月観測史上3位
5/23	クマガラ、エゾハルゼミ鳴く(上・層) 上	5/25	上川一時霰(あられ)
5/24	ツツドリ(赤色型) 上		あられ一直径5mm未満 ひょう一直径5mm以上
6月↓		6/4	
6/2	オオルリ 上		センター前最高気温26℃ 上川町28.3℃
6/5	シマヘビ幼体、アオダイショウ キタキツネ国道で車の犠牲に 層	6/5	センター前最高気温28℃
6/20	ノゴマ、カヤクグリ、日暈 黒	6/10	上川日最低気温-2℃ 6月観測史上1位
6/23	シマヘビ 層	6/12	大雪山連峰一帯降雪
6/26	ノゴマ、シマリス、ホシガラス 黒		各峠降雪
6/27	山ヒル(ヤマビル) 層	6/12	層雲峡日降水量44mm 6月観測史上3位
	北海道には生息していない・・・。	6/13	北見降雪の為通行止め
7月↓		7/3	
7/7	石室周辺 仔リス5匹 黒		大雨の影響で三国峠・石北峠通行止め
7/12	ホシガラス、エゾユキウサギ、ウソ雌雄 黒		各林道通行止め 国道一部冠水・土砂崩れ発生
7/17	ノゴマ、ギンザンマシコ、エゾユキウサギ ウスバキチョウ 黒	7/3	層雲峡日降水量116mm 7月観測史上1位
7/19	オオイチモンジ 層		上川町日降水量95mm 7月観測史上2位
7/20	ハイタカ 上	7/5	上川町日最低気温(低)12.2℃ 7月観測史上1位
黒岳気象他↓		7/6	
5/30	五合目チシマザクラ開花(昨年は6/1)		上川町日最大瞬間風速18.1m/s 7月観測史上1位
6/12	五合目積雪状態	7/6	センター前早期最低気温6℃
6/14	五合目雪	7/9	町道高原温泉道道銀泉台開通
6/20	黒岳北東斜面昨年同様残雪多し	7/16	銀泉台線落石の恐れの為一時通行止め
6/24	山岳地帯一時あられ		
7/初	七合目・石室周辺 早期最低気温4℃~7℃		
	石室周辺霜・氷張る		
	低温等の影響で高山植物開花遅れる		



今年も残雪が多い年です。気温も7月上旬まで低温で推移し、雪どけが中々進まず高山植物の開花も遅れました。ここ数年同様の状況ですが、装備の充実は欠かせません。
写真：黒岳頂上直下 下山時 6/下

カレンダー期間 05/21-07/20
観測地：上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳

今回の予びたわ

アオダイショウの脱皮。しかも橋の上で……。今にも落ちそう。ここで脱皮しなくても…。真下は濁流の石狩川です。



遊びに来て下さい。

発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料

11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2018年7月25日発行 M・K

白黒紙面でご覧の皆様へ ~ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。